

FM/AM コンパクトディスク プレーヤー

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。



電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書および「取り付けと接続」には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書および「取り付けと接続」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。



CDX-C4200

**警告**

安全のために

ソニー製品は安全に十分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあります危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。



安全のための注意事項を守る

この取扱説明書と別冊の「取り付けと接続」の注意事項をよくお読みください。

道路交通法に従って安全運転する

運転者は道路交通法に従う義務があります。前方注意をおこたるなど、安全運転に反する行為は違法であり、事故やけがの原因となることがあります。

- ・ 運転者は走行中に操作をしない。
- ・ 車外の音が聞こえる程度の音量で聞く。

定期的に点検する

1年に1度は、電源コードに傷みがないか、振動により配線がはずれていないか、接続部分が車体と接触していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットや電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口 に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、
煙が出たら



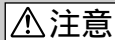
- ① 安全な場所に車を止める
- ② 電源を切る
- ③ お買い上げ店またはソニーサービス窓口 に修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および別冊の「取り付けと接続」、製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡やけがなど人身事故の原因となります。



この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり自動車に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



火災



感電

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止

目次

△警告・△注意	4
---------------	---

▶ 準備

まず、本機をリセットする	6
SHIFTボタンについて	6
時計を合わせる	7
放送局を自動で登録する	8

▶ ここだけ読んでも使えます

CDを聞く	9
CDのいろいろな聞きかた ...	12
ラジオを聞く	14

▶ ラジオ

特定の放送局を登録する	16
放送局に名前をつける	17
放送局を名前で探す	19

▶ その他の操作

ロータリーコマンドの操作	20
音質や音のバランスを調節する	22
音や表示の設定を変える	23
重低音を強調する	24

付録

使用上のご注意	37
各部のなまえ	39
故障かな?	40
保証書とアフターサービス	42
主な仕様	43
索引	裏表紙

別売りの機器を接続すると

▶ CD/MD

チェンジャー内のCD/MDを聞く	25
聞きたいディスクを探す	26
繰り返し聞く	26
曲順を変えて聞く	27
CDに名前をつける	28
ディスクを名前で探す	30
CDの聞きたい曲だけを聞く	31

▶ テレビ/ビデオ

テレビを見る	33
ビデオを見る	35
ラジオ局・テレビ局の一覧を見る	35
CD/MDの情報を見る	36



火災



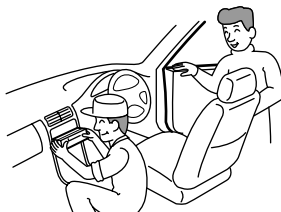
感電

下記の注意を守らないと**火災・感電**により**死亡**や**大けが**の原因となります。

取り付けはお買い上げ店に依頼する

本機の実装には専門知識が必要です。

万一、ご自分で取り付けるときは、別冊の「取り付けと接続」の説明に従って、正しく取り付けください。正しい取り付けをしないと、火災や感電の原因となります。

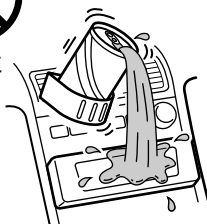


内部に水や異物を落とさない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。



禁止

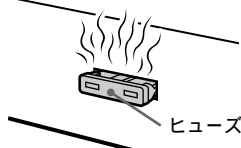


規定容量のヒューズを使う

ヒューズを交換するときは、必ずヒューズに記された規定容量のアンペア数のものをお使いください。規定容量を越えるヒューズを使うと、火災の原因となります。



禁止



前方の視界を妨げる場所に、ディスプレイやモニターを取り付けない

前方の視界の妨げになると、事故やけがの原因となることがあります。また、取り付ける場所が助手席用エアバックシステムの動作の妨げにならないことを確認してください。



禁止



分解や改造をしない

火災や感電、事故の原因となることがあります。

内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。



分解禁止



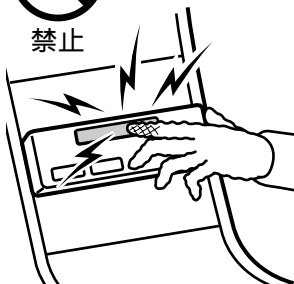
下記の注意を守らないと**けが**をしたり**自動車に損害**を与えたりすることがあります。

カセットテープやディスク挿入口に手を入れない

内部で手をはさまれ、けがの原因となることがあります。



禁止



はじめに

本機では、CDとラジオを聞くことができます。

別売りの機器をつないだ場合も本機のボタンで操作できます。以下の機器が組み合わせられます。

- CDチェンジャー、MD(ミニディスク)チェンジャー
カスタムファイル機能付きCDチェンジャーを接続するとすべてのCDでカスタムファイル機能が可能。
- スペアナ付MDプレーヤー、イコライザー付CD/MDプレーヤー
- ロータリーコマンダー

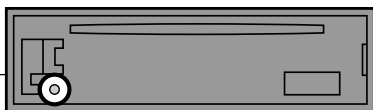
この取扱説明書では、本機の使いかたの他に、別売りの機器を接続した場合の操作方法についても説明しています(20～21ページ、25～36ページ)。

アッテネート

ATT機能

本機は、電話使用時やナビゲーションの案内音声があるときに本機からのスピーカーの音量を自動的に下げます。ただし、ATT出力コードの付いた携帯電話や自動車電話、カーナビゲーションシステムを接続した場合です。VOLダイヤルで音量を上げると解除されます。

まず、本機をリセットする



初めて使うときや、自動車のバッテリーを交換したときは、フロントパネルをはずしてリセットボタンをボールペンの先などで押す。(フロントパネルの取りはずしについては37ページをご覧ください。)

ご注意

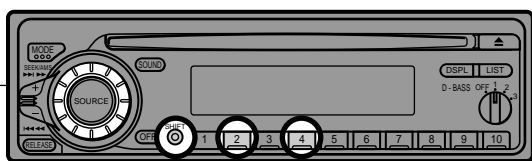
リセットボタンを押した後、10秒間はCDを入れないでください。10秒以内にCDを入れるとリセットされません。もし入れたときはもう一度リセットし直してください。

SHIFTボタンについて

本機を操作するとき、SHIFTボタンを押すと、1～7のボタンは、上に機能表示が出て各機能の操作ボタンに変わります。

各設定等を行った後はSHIFTボタンを押してもとに戻します。

時計を合わせる



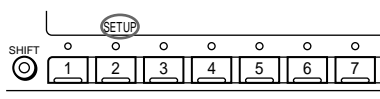
SET UP (セッティング)

1 車のイグニッションキーをONにする。



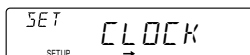
2 SHIFTボタンを押して「SET UP」を表示する。

SHIFTボタンを押すと、操作できる数字ボタンの上に表示ができます。

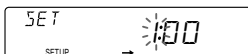


3 数字ボタン2 (SET UP) を押す。

SET UP



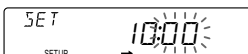
① 数字ボタン4 (→) を押す。



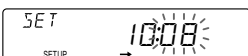
② ダイヤルで「時」を合わせる。(時計は12時間表示)



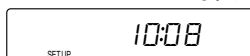
③ 数字ボタン4 (→) を押す。



④ ダイヤルで「分」を合わせる。

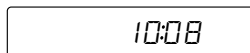


4 SHIFTボタンを押す。

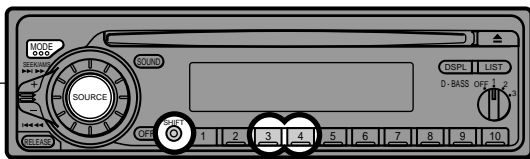


時計がスタートします。

5 最後に、SHIFTボタンを押す。



放送局を自動で登録する



受信できる局を数字の1～10ボタンに自動的に登録します。FMまたはAMのバンドでそれぞれ10局ずつ登録できます。テレビ放送(1～3チャンネル)は、FM90.0MHzの次にあります。



1 SOURCEボタンを押してラジオに切り換える。



2 MODEボタンを押して登録したい放送局のバンド(FMまたはAM)に切り換える。



3 SHIFTボタンを押して「PLAY MODE」を表示する。

PLAY MODE



4 数字ボタン3(PLAY MODE)をくり返し押して、「B.T.M」を表示する。



5 数字ボタン4(→)を押す。

「B.T.M」(ベストチューニングメモリー)と点滅表示され、選んだバンドの中で受信状態の良い局が周波数の順に数字ボタンに登録されます。



6 最後に、SHIFTボタンを押す。

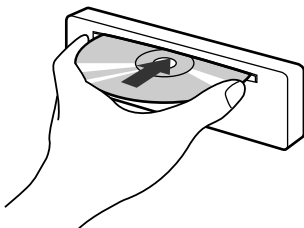
ご注意

- 放送局の数が少ない場合や電波が弱いときは、登録されないことがあります。
- 表示窓に登録番号が表示されているときは、それ以降の数字ボタンに放送局が登録されます。

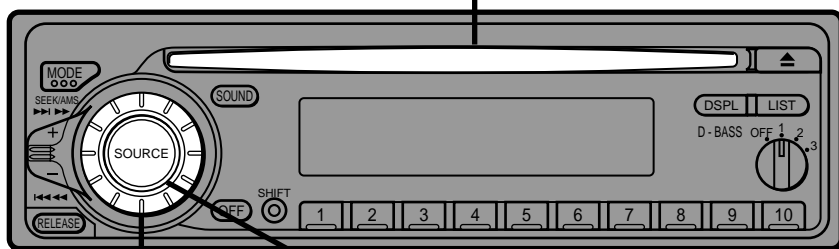
CDを聞く

ここだけ読んでも
使えます

CDを入ると再生が始まります



ラベル面を上にして入れます。



音量を調節する

CDが入っているときに
押して「CD」を選ぶと
再生が始まる
(^{ソース}SOURCEボタン)



8cmCDについて

本機では8cmCDをアダプターを使わずに再生できます。

8cmCDにシングルアダプターを付けてディスクを再生すると、故障の原因となりますので使用しないでください。

次のページへつづく

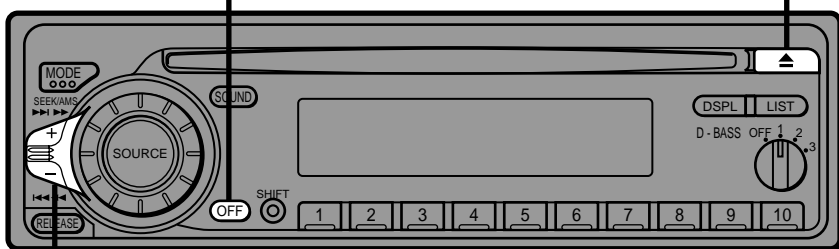
CDを聞く(つづき)

止める / 電源を切る

オフ
(OFFボタン)

CDを取り出す*

イジェクト
(▲ボタン)



聞きたいところを探す

シーク/エーエムエス
(SEEK/AMSつまみ)

先に進める

前に戻す

上下に押しつづけ、聞きたい
ところで離します。

曲の頭出しをする

シーク/エーエムエス
(SEEK/AMSつまみ)

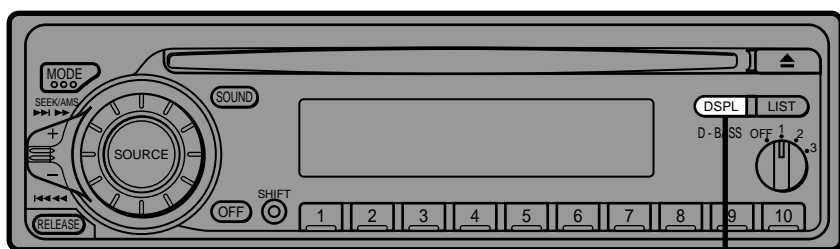
次の曲へ

前の曲へ

とばしたい曲の数だけ上下に
押します。

*セルフストア機能

▲を押した後、挿入口にCDが15秒以上差し込んだままになっていると、ディスク保護のため自動的にディスクを引き込み停止状態になります。



表示の見かた ディスプレイ (DSPLボタン)

DSPL

DSPLボタンを押して表示を切り換えます。

CD 1 TRACK 5 2:15

再生経過時間

CD 1 DISC SONY POP5

ディスクの名前*

CD 1 10:08

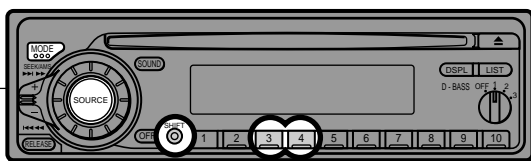
時計

→ モーション
ディスプレイ**

* カスタムファイル機能の付いたCDチェンジャーで名前を登録した場合。なお名前を登録していないときは、「NO NAME」と表示後、再生経過時間になります。

**「再生経過時間」、「ディスクの名前」、「時計」の各表示を順番に表示します。

CDのいろいろな聞きかた



PLAY MODE(プレイ モード)

聞きたい曲を選ぶ(イントロ)



1 SHIFTボタンを押して「PLAY MODE」を表示する。

SHIFTボタンを押すと、操作できる数字ボタンの上に表示ができます。(「SET UP」、「PLAY MODE」など)

PLAY MODE



2 数字ボタン3 (PLAY MODE) をくり返し押して、「INTRO」を表示する。

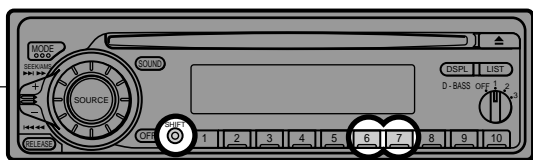


3 数字ボタン4 (→) を押して「INTRO-ON」表示にする。



4 最後に、SHIFTボタンを押す。

ふつうの再生に戻すには、手順3で「INTRO-OFF」表示にします。



リピート/シャッフル

繰り返し聞く

SHIFT



REP

6

SHIFT



1 SHIFTボタンを押して「REP」を表示する。

2 数字ボタン6 (REP) を押して「REP-1」表示にする。

3 最後に、SHIFTボタンを押す。

ふつうの再生に戻すには、手順2で「REP-OFF」表示にします。

曲順を変えて聞く

SHIFT



SHUF

7

SHIFT



1 SHIFTボタンを押して「SHUF」を表示する。

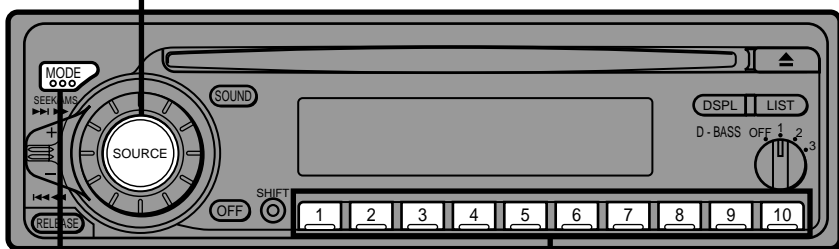
2 数字ボタン7 (SHUF) を押して「SHUF-1」表示にする。

3 最後に、SHIFTボタンを押す。

ふつうの再生に戻すには、手順2で「SHUF-OFF」表示にします。

ラジオを聞く

1 ラジオに切り換える



2 聞きたいバンドに切り換える



押して「FM」または「AM」を
選びます。

3 聞きたい放送局のボタンを押す (放送局を登録してあるとき)



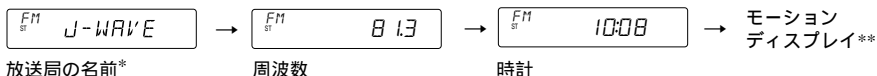
登録のしかたについては、8ページ参照。

ご注意

SHIFTボタンが押されていて数字ボタンの上に「SET UP」および「PLAY MODE」表示が出ているときは、数字ボタンで選択はできません。この場合は、SHIFTボタンを押して表示を消してから操作してください。

表示の見かた (DSPLボタン)

DSPL DSPLボタンを押して表示を切り換えます。



放送局の名前*

周波数

時計

* 名前を登録していないときは、「NO NAME」と表示後、周波数表示になります。
ボタン操作のあと、表示切り換えが遅れることもあります。

**「放送局名」または「周波数」、「時計」の各表示を順番に表示します。



旅先などで、登録した局が受からないとき(自動選局を使う)

SEEK/AMSつまみを短くまわして離します。自動的に放送局を探し始め、受信すると止まります。聞きたい局が受かるまで、ボタンを上下に押します。



- 聞きたい局がわかっていないときは、その局の周波数になるまでSEEK/AMSつまみを上下に押しつづけます。
- 自動選局がたびたび止まってしまうときは、ローカル受信にすると、比較的電波の強い局だけを受信します。

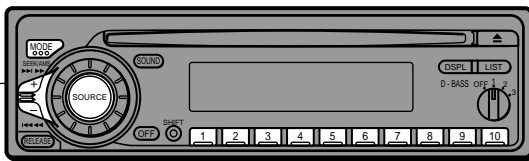
- 1 SHIFTボタンを押して「PLAY MODE」を表示する。
- 2 数字ボタン3 (PLAY MODE) をくり返し押して、「LOCAL-OFF」表示にする。
- 3 数字ボタン4 (→) を押して「LOCAL-ON」表示にする。
- 4 最後に、SHIFTボタンを押す。
ふつうの受信に戻すには、手順3で「LOCAL-OFF」を選びます。

ステレオ放送が聞きにくいとき

ステレオ放送を受信すると「ST」と表示されます。放送が聞きにくいときは、音をモノラルにすると聞きやすくなります。

- 1 SHIFTボタンを押して「PLAY MODE」を表示する。
- 2 数字ボタン3 (PLAY MODE) をくり返し押して、「MONO-OFF」を表示する。
- 3 数字ボタン4 (→) を押して「MONO-ON」を表示する。
- 4 SHIFTボタンを押す。

特定の放送局を登録する



放送局を自動で登録(8ページ)したあと、空いている数字ボタンに他の放送局を追加登録できます。すでに登録してある数字ボタンも、他の放送局に登録し直すことができます。道路交通情報(AM1,620kHzまたはAM1,629kHz)を登録しておく便利です。



1 SOURCEボタンを押してラジオに切り換える。



2 MODEボタンを押して登録したい放送局のバンド(FMまたはAM)に切り換える。



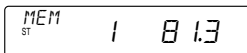
3 SEEK/AMSつまみを上下に押して登録する放送局を受信する。



4 登録したい数字ボタンを「MEM」が表示されるまで押す。



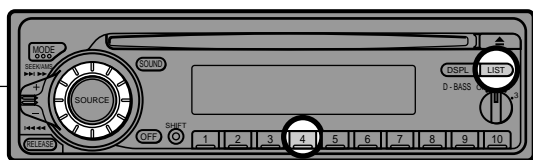
押した数字ボタンの番号が表示され、このボタンに選んだ放送局が登録されます。



ご注意

すでに登録してある数字ボタンに同じバンドの他の放送局を登録すると、前の局は消えてしまいます。

放送局に名前をつける



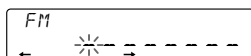
ステーションメモ

放送局に名前をつけると、受信中にその名前を表示できます。最大60の放送局に、8文字までの名前をつけられます。

1 名前をつけたい放送局を受信する。

LIST

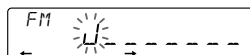
2 LISTボタンを表示が点滅するまで押す。



3 文字を入力する。

① ダイヤルを右に回して、文字を探す。

A→B→C→...Z→0→1→2→...9→+→-→*→/→\→ →
→.→_



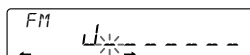
ダイヤルを左に回すと、逆順に表示されます。

文字の間をあけたいときは、「_」(下線)を入力します。



② 文字が見つかったら、数字ボタン4(→)を押す。

次の文字を入力できるようになります。



まちがえたときは、数字ボタン1(←)を押して修正したい文字を点滅させて正しい文字を入れます。

③ 手順①と②を繰り返し、名前を入力する。

4 つづけて他の放送局に名前をつける場合は、その局を受信してから文字を入力する。

LIST

5 最後に、LISTボタンを2秒以上押す。

次のページへつづく

放送局に名前をつける(つづき)



名前を表示するには



DSPLボタンを押して名前表示に切り換える。

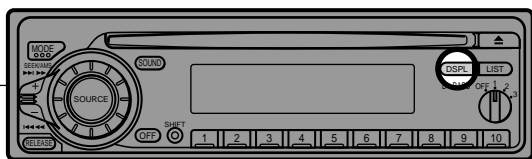
名前を登録していない場合は、「NO NAME」と表示されます。

名前を消去するには

- 1 LISTボタンを表示窓が点滅するまで押す。
- 2 DSPLボタンを2秒以上押す。
- 3 ダイヤルを回して消したい名前を表示させる。
- 4 数字ボタン5 (ENTER) を名前が消えるまで押す。
- 5 LISTボタンを2秒以上押す。

すべての文字に「 _ 」(下線)を入力して名前を消すこともできます。

放送局を名前を探す



リスト

放送局に名前をつけておくと(17ページ)、名前を見ながら放送局が探せます。

LIST

1 LISTボタンを短く押す。



受信中の放送局の名前が点滅

名前をつけていない場合は、周波数を表示します。

LIST

2 つづけてLISTボタンを押して聞きたい放送局の名前に切り換える。

DSPLボタンを押したり、ボタンを押さないまま5秒間を過ぎると、もとの表示に戻ります。

ENTER

5

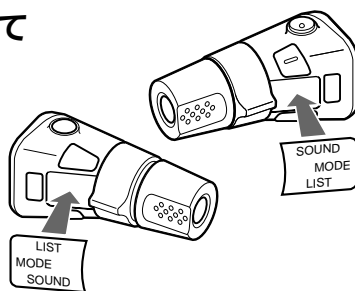
3 数字ボタン5(ENTER)を押して受信する。

ロータリーコマンダーの操作

ロータリーコマンダーのシールについて

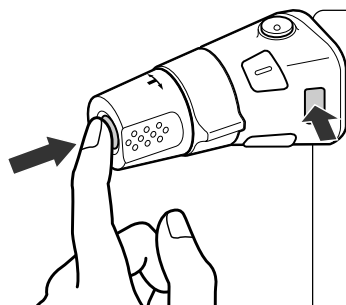
本機には、別売りのロータリーコマンダー(RM-X4S)を接続することができます。

ロータリーコマンダーには、ボタン名称のシールが4枚付属されています。接続するマスターユニットの機能および、ロータリーコマンダーを取り付ける向きに合わせて、シールを貼ってください。



この機能は別売りRM-X4Sを使用してください。CD/MDチェンジャーは、各機器を接続しているときだけ操作できます。

押すとソース (SOURCEボタン、モード MODEボタン)



SOURCEボタンを押すと

ソースがTUNER CD MDと切り換わる

ロータリーコマンダーのSOURCEボタンを押すと本体の電源が入ります。

MODEボタンを押すと

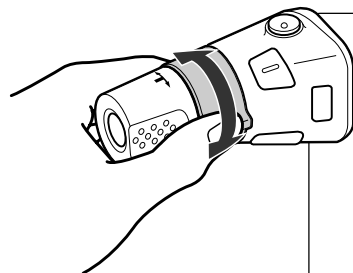
TUNERの時 : FM AM ...

CDの時 : CD1 CD2 ...

MDの時 : MD1 MD2 ...

と切り換わる

回すとシーク/エーエムエス (SEEK/AMSつまみ)



CD/MD... 短く回して離すと曲の頭出しをする

回しつづけると早く送られ、離すと再生に戻る

ラジオ..... 短く回して離すと自動的に放送局を受信する

回しつづけると特定の周波数を受信する

押しながら回すと (プリセット/ディスク プリセット/ディスク PRESET/DISCつまみ)

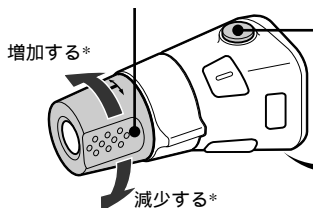


CD/MD... チェンジャー内のディスクを切り換える
ラジオ... プリセットした放送局を順に受信する

* 操作方向は初期設定でハンドルコラムの左側に設置したときの使用を想定した方向になっています。

その他の操作

音量を調節する (ボリューム ボリューム VOLつまみを回す)



音を瞬時に消す (アッテネート アッテネート ATTボタンを押す)

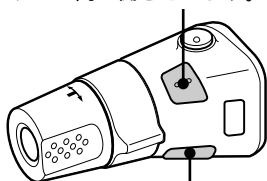


電源を切る (オフ オフ OFFボタンを押す)

* 操作方向は初期設定でハンドルコラムの左側に設置したときの使用を想定した方向になっています。

音量調節・音質選択する (サウンド サウンド SOUNDボタンを押す)

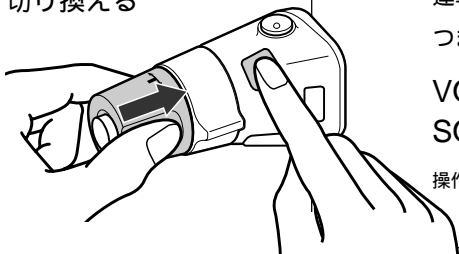
本体のボタンと同じ働きをします。



リストを表示する (リスト リスト LISTボタンを押す)

本体のボタンと同じ働きをします。

つまみの操作方向を
切り換える

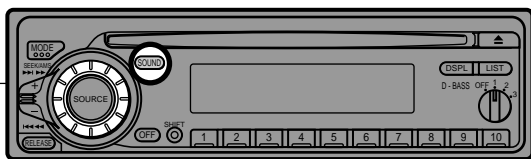


運転席の左右どちら側に取り付けるかで、
つまみの操作方向を逆に設定できます。

VOLつまみを押しながら、
SOUNDボタンを2秒以上押す

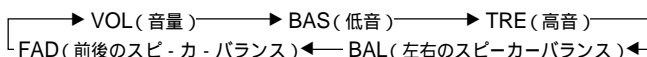
操作方向の切り換えは、本体でもできます(23ページ)。

音質や音のバランスを調節する



BAS (低音) TRE (高音) はソースごとに調節できます。

- SOUND** **1** SOUNDボタンを押して調節したい項目に切り換える。



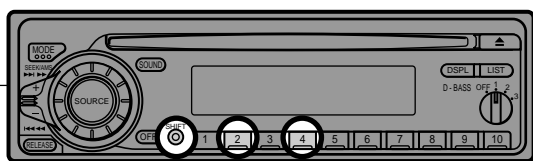
- 2** ダイヤルを回して調節する。

3秒以内にダイヤルを回してください。3秒を過ぎると音量調節 (VOL) に戻ります。



BAS	TRE	BAL	FAD
弱まる	弱まる	左へ移動	後ろ方向へ移動
強まる	強まる	右へ移動	前方向へ移動

音や表示の設定を変える



SET UP (セッティング)

次の設定ができます。

- 「CLOCK」→時計を合わせる(7ページ)。
- 「D.INFO」→常に時計表示をさせる。
- 「AMBER」、「GREEN」
 - 操作ボタンの照明色を変える。
- 「DIM」 → 表示窓の減光を設定する。
 - 「ON」 → 車の照明に関係なく表示が減光する。
 - 「OFF」 → 車の照明に関係なく表示が減光しない。
- 「BEEP」 → 操作ボタンを押したときの「ピッ」という音を入・切する。
 - (内蔵アンプを使用した場合のみ)
- 「RM」 → ロータリーコマンダー(別売り)のつまみの操作方向を切り換える。
 - 「NORM」→ 初期設定の回転方向。
 - 「REV」 → 運転席の右側に取り付けたときの回転方向。
- 「A.SCRL」→ ディスクを入れかえたときや曲が変わったときに9文字以上の曲名やディスク名を自動的にスクロールする。



1 SHIFTボタンを押して「SET UP」を表示する。



2 数字ボタン2(SETUP)を押して調節したい項目に切り換える。

数字ボタン2(SETUP)を押すごとに表示は、次のように換わります。

CLOCK → D.INFO* → COLOR (AMBER/GREEN) → DIM →
BEEP → RM → A.SCRL**

* チューナー受信中やCD/MD再生中に表示されます。

** MDチェンジャーを接続した場合またはCDテキスト対応のCDを使用した場合のみ。



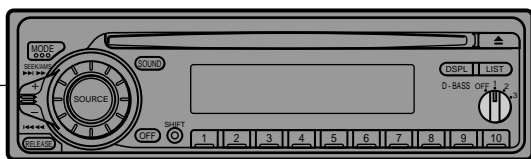
3 数字ボタン4(→)を押して調節したい設定表示にする。
(例:「ON」または「OFF」)



4 最後に、SHIFTボタンを押す。

設定され通常の表示に戻ります。

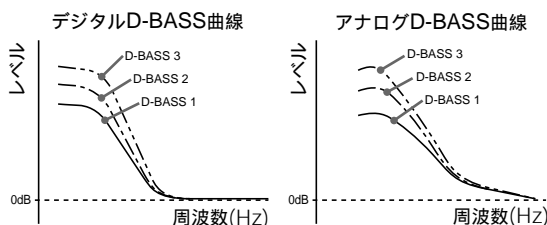
重低音を強調する



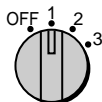
D-BASS

D-BASS機能(ダイナミックベース)は低音域をシャープに増幅するため、従来の低音強調機能よりも同じ音量でクリアな力強い低音を楽しめます。さらにデジタルD-BASS*では、独自のICを採用し、アナログD-BASSを超えた迫力ある重低音で再生します。

* デジタルD-BASSは本機やデジタルD-BASS対応チェンジャーのCD/MD再生時に働きます。また、ラジオ受信時や対応していないチェンジャー内のCD/MD再生時は、アナログD-BASSで再生します。



D-BASSつまみで低音を調節する



1 ~ 3 に合わせます。数字が大きいくほど低音が強調されます。

ディスプレイでの表示

「DIGITAL D-BASS」 → 本機またはデジタルD-BASS対応チェンジャーCD/MD再生時

「D-BASS」 → ラジオ受信時またはデジタルD-BASS対応でないチェンジャーのCD/MD再生時

通常に戻すときは、D-BASSつまみを「OFF」に合わせてください。

ご注意

音量によっては低音が歪むことがあります。このときはD-BASSつまみや音量を聞きやすいように調整してください。

CD/MD

別売りのCDチェンジャーやMDチェンジャーをつないで、CDやMD(ミニディスク)を再生できます。この章では、チェンジャー固有の機能について説明します。

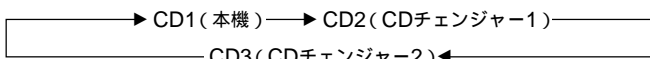
チェンジャー内のCD/MDを聞く



1 SOURCEボタンを押して「CD」または「MD」表示にする。



2 MODEボタンを押して聞きたいチェンジャーに切り換える。

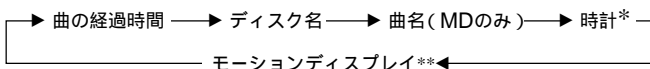


全てのディスクを順に再生します。

表示窓の見かた



再生中にDSPLボタンを押して表示を切り換えます。



MDにディスク名や曲名が記録されていない場合は「NO NAME」を表示します。

* デュアルインフォメーション設定を「ON」にしたときは表示しません。

**「再生経過時間」、「ディスクの名前」、「時計」の各表示を順番に表示します。

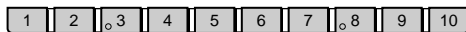
ご注意

- MDに記録されているディスク名、曲名はアルファベット、数字のみ表示できます。
- 漢字、ひらがなのみで入力されたMDを再生した場合は「NO NAME」と表示されます。

長いディスク名、曲名を再び見るにはSHIFTボタンを押してから数字ボタン1(←)を押します。

聞きたいディスクを探す

再生中に聞きたいディスクの番号と同じ数字ボタン1～10を押す。



繰り返し聞く

リピート

- 「REP-1」→再生中の曲を繰り返す。
- 「REP-2」→再生中のディスクを繰り返す。

SHIFT



REP

6

REP

6

1 再生中にSHIFTボタンを押す。次に数字ボタン6 (REP) を押して「REP」表示にする。

2 数字ボタン6 (REP) を押して聞きたい設定に切り換える。



リピート演奏が始まります。

ふつうの再生にするには、手順2で「REP-OFF」を選びます。

SHIFT



3 最後にSHIFTボタンを押す。

曲順を変えて聞く

- 「SHUF-1」 → 再生中のディスクの曲を順不同に1回ずつ再生する。
- 「SHUF-ALL」 → 全ディスクの曲を順不同に再生する。



SHUF



SHUF



1 再生中にSHIFTボタンを押す。次に数字ボタン7 (SHUF) を押して「SHUF」表示にする。

2 数字ボタン7(SHUF)を押して聞きたい設定に切り換える。



シャッフル演奏が始まります。

ふつうの再生にするには、手順2で「SHUF-OFF」を選びます。



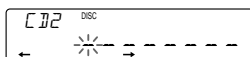
3 最後にSHIFTボタンを押す。

CDに名前をつける

カスタムファイル対応のCDチェンジャーの場合

CDに8文字までの名前をつけ、再生中に表示できます。つけた名前はチェンジャー本体に記憶され、CD110枚分を保存できます。カスタムファイルに対応しているチェンジャーを1台つないでいれば、対応していないチェンジャーに入っているCDにも名前をつけられます。

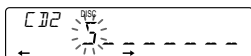
- LIST** **1** CDを再生し、LISTボタンを表示が点滅するまで押す。



- 2** 文字を入力する。

- ①** ダイヤルを右に回して、文字を探す。

A→B→C→...Z→0→1→2→...9→+→-→*→/→\→ →
→.→_

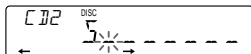


ダイヤルを左に回すと、逆順に表示されます。

文字をあげたいときは、「_」(下線)を入力します。



- ②** 文字が見つかったら、数字ボタン4(→)を押す。



まちがえたときは、数字ボタン1(←)を押して修正したい文字を点滅させ、正しい文字を入れ直します。

- ③** 手順**①**と**②**を繰り返して名前を入力する。

- LIST** **3** 最後に、LISTボタンを2秒以上押す。

CDに名前をつける(つづき)

名前を表示するには

DSPL 再生中にDSPLボタンを押して、名前表示に切り換える。

名前を消去するには

- 1 MODEボタンを押してCDチェンジャー(「CD1」以外のチェンジャー)を選びます。
- 2 LISTボタンを表示が点滅するまで押します。
- 3 DSPLボタンを2秒以上押します。
- 4 ダイヤルを回して消したい名前を表示させます。
- 5 数字ボタン5(ENTER)を2秒以上押します。

他に消したい名前があるときは、手順4、5を繰り返します。

- 6 最後に、LISTボタンを2秒以上押します。

「CDに名前をつける」の手順2で、すべての文字に「 _ 」(下線)を入力して名前を消すこともできます。

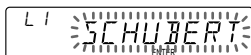
ディスクを名前で探す

MDチェンジャーまたはカスタムファイル対応のCDチェンジャーの場合

名前を見ながら好きなディスクを選べます。CDについては、ディスクメモ機能(28ページ)で名前をつけてからこの機能を使います。

LIST

1 LISTボタンを短く押す。



再生中のディスク名が点滅

LIST

2 LISTボタンを押して聞きたいディスクの名前に切り換える。

ボタンを押さないまま5秒を過ぎると、通常の表示に戻ります。

ENTER

5

3 数字ボタン5(ENTER)を押して再生する。

ご注意

- 「NO DISC」: ディスクが入っていない。
- 「*****」: 名前が入っていない。
- 「NO READ」: 本機がディスク情報を読み込んでいない。

CDの聞きたい曲だけを聞く

カスタムファイル対応のCDチェンジャーの場合

聞きたくない曲をとばして、お気に入りの曲だけを再生します。この機能を使えるのは、ディスクメモ機能(28ページ)で名前をつけたCDだけです。

聞きたくない曲をとばすように指定する



- 1 CDを再生し、SHIFTボタンを押す。次に数字ボタン3(PLAY MODE)を「PLAY」と表示されるまで押す。



- 2 SEEK/AMSつまみをまわし、とばしたい曲の番号を表示して、数字ボタン5(ENTER)を押す。

表示が「PLAY」(再生する)から「SKIP」(とばす)に変わります。



5番目のディスクの3曲目をとばすとき

「PLAY」に戻すときは、もう1度数字ボタン5(ENTER)を押します。



- 3 同様に、とばす曲全部に「SKIP」を設定する。
- 4 最後に、数字ボタン3(PLAY MODE)を2秒以上押す。



- 5 最後にSHIFTボタンを押す。

ご注意

- ・「SKIP」を設定できるのは24曲目までです。
- ・「SKIP」を全曲に設定して、ディスクを丸ごととばすことはできません。

CDの聞きたい曲だけを聞く(つづき)

曲をとばしながら聞く

- 「BANK ON」→「PLAY」と設定した曲だけ再生する。
- 「BANK INV」→「SKIP」と設定した曲だけ再生する。
- 「BANK OFF」→ふつうの再生。

SHIFT



1 CDを再生し、SHIFTボタンを押して「PLAY MODE」を表示する。

PLAY MODE



2 数字ボタン3(PLAY MODE)を短く押して「BANK」の表示にする。



3 数字ボタン4(→)を押して再生のしかたを選ぶ。



バンク演奏が始まります。

SHIFT



4 最後に、SHIFTボタンを押す。

ふつうの再生に戻すには、手順3で「BANK-OFF」表示にします。

テレビ・ビデオ

テレビやビデオはもちろん、チェンジャーに入っているCDやMDのタイトルをテレビ画面で見することもできます。

テレビを見るには別売りのチューナーとモニターを、ビデオを見るには別売りのビデオデッキとモニターを接続してください。

テレビを見る

TVチューナーユニットとTVモニターの取扱説明書に従って接続してください。あらかじめ、受信できる放送局を登録すると、簡単にチャンネルを選べます。

チャンネルを自動で登録する

最大10局まで登録できます。



1 SOURCEボタンを押してテレビに切り換える。



2 MODEボタンを押して「TV」表示にする。

SHIFT



3 SHIFTボタンを押して「PLAY MODE」を表示する。

PLAY MODE



4 数字ボタン3 (PLAY MODE) を押して「AUTO MEM」表示にする。



5 数字ボタン4 (→) を押す。

受信できる放送局を探し始め、チャンネル順に数字ボタン1～10に割り当てます。

SHIFT



6 最後に、SHIFTボタンを押す。

その他の操作

チャンネルを選ぶには	数字ボタン1～10を押す
強制的にモノラル受信するには	「ステレオ放送が聞きにくいとき」(15ページ)と同じ手順を行う(ステレオ放送受信中)
副音声を聞くには	<ol style="list-style-type: none">1 SHIFTボタンを押す。2 数字ボタン3(PLAY MODE)を短く押して「MAIN」表示にする。3 数字ボタン4(→)を押して「SUB」表示にする。(2カ国語放送受信中)
特定のチャンネルを登録するには	「特定の放送局を登録する」(16ページ)と同じ手順を行う(手順1では、FM/AMの代わりにTVを選びます。)
テレビ局に名前をつけるには	「放送局に名前をつける」(17ページ)と同じ手順を行う(手順1では、FM/AMの代わりにTVを選びます。)

ビデオを見る

ビデオデッキとTVモニターの取扱説明書に従って接続してください。



1 SOURCEボタンを押してテレビを選ぶ。



2 MODEボタンを押して「VIDEO」を選ぶ。

ビデオをTVモニターのVIDEO2端子に接続しているときは、
「VIDEO 2」表示に切り換えます。

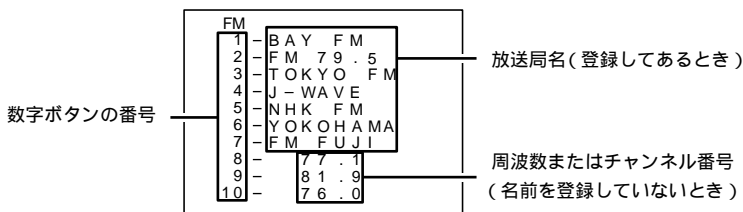
3 ビデオデッキのボタンでビデオを再生する。

ラジオ局・テレビ局の一覧を見る

プリセットしたテレビチャンネルやラジオ局をTV画面で一覧できます。



ラジオまたはテレビを受信中に、LISTボタンを短く
押す。



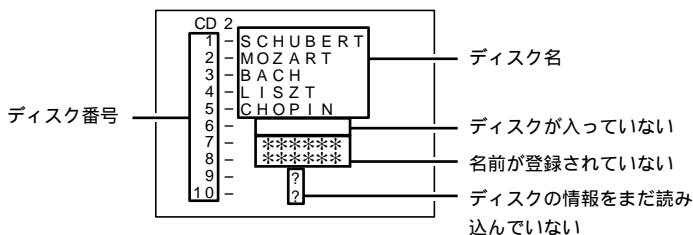
現在受信中の放送局は赤紫色で表示されます。一覧が出ている間は、
テレビ画面は映りません。

表示を消すには、ラジオ受信中はもう1度LISTボタンを押します。
テレビ受信中は、自動的にテレビ画面に戻ります。

CD/MDの情報を見る

ディスクの名前をTV画面で一覧できます。CDについては、ディスクメモ機能(28ページ)で名前をつけてからこの機能をお使いください。

LIST 再生中にLISTボタンを短く押す。



現在再生中のディスクはCDは赤紫色、MDは黄色で表示されます。

一覧が出ている間は、テレビ画面は映りません。

表示を消すには、もう1度LISTボタンを押します。

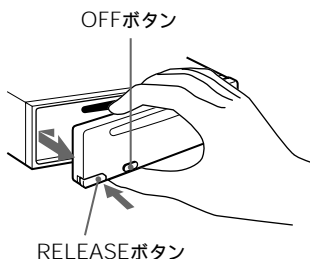
ご注意

- MDのカタカナのディスク名、曲名および一部の記号は表示されません。
- 名前はすべて大文字で表示されます。
- CD-TEXTの内容は表示されません。

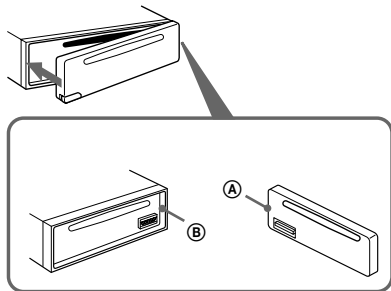
使用上のご注意

フロントパネルについて

取りはずすときは必ず、OFFボタンを押し、電源を切ってから、RELEASEボタンを押してください。フロントパネルを少し左にずらし、手前に引くとはずれます。



取り付けるときは、フロントパネルの④と本体の③部分を合わせて、ロックされるまで押し込んでください。

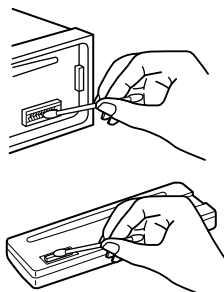


ご注意

- 取りはずしたフロントパネルは直射日光の当たる高温のところ、湿度の高いところなどには置かないでください。
- フロントパネルの表示窓や挿入口の上部を押したり、強い力を与えないでください。

コネクターのお手入れについて

フロントパネルおよび本機のコネクターが汚れていると動作不良の原因になります。ときどきクリーニングしてください。



本機側のコネクターを変形させないように注意してください。

本体の表面を傷めないために

本体表面に殺虫剤やヘアスプレーがかかったり、防虫剤などの薬品やゴム、ビニール製品が長時間接触しないようにしてください。本体表面が変質、変形したり、塗装がはげたりすることがあります。

結露について

寒いときにヒーターをつけた直後など、CDプレーヤー内部の光学系のレンズに露（水滴）が生じることがあります。このような現象を結露といいます。

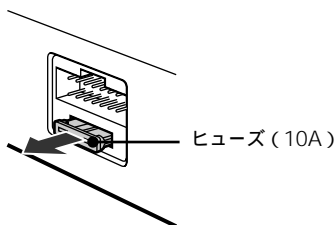
結露したままですと、レーザーによる読み取りができず、CDプレーヤーが動作しないことがあります。

周囲の状況にもよりますが、CDを取り出して放置しておけば、約1時間ほどで結露が取り除かれ、正常に動作するようになります。もし、何時間経過しても正常に動作しない場合はアフターサービスにお申し付けください。

使用上の注意(つづき)

ヒューズについて

ヒューズを交換するときは、必ずヒューズに記してある規定容量(アンペア数)のヒューズをお使いください。規定容量以上のヒューズや針金で代用すると故障の原因となるだけでなく大変危険です。



コンパクトディスクについて

- CDの汚れやゴミ、キズ、そりなどが、音とびなど誤動作の原因となることがあります。いつまでも美しい音で楽しめるように、次のことにご注意ください。

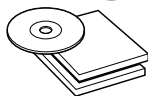


記録面に触れないように持つ。

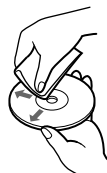


ディスクに紙などを貼らない。
キズを付けない。

- 直射日光が当たるところなど高温の場所、湿度の高いところには置かないでください。



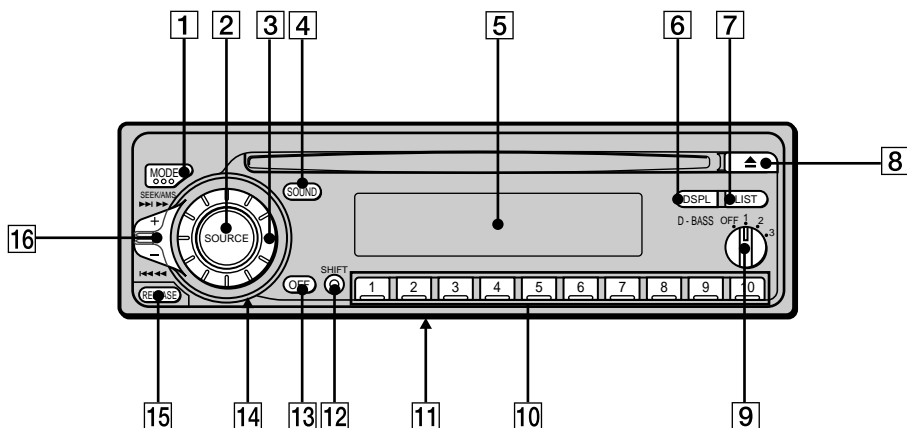
- 再生する前に、再生面についたホコリやゴミ、指紋などを別売りのクリーニングクロスで矢印の方向へふき取ってください。



- ペンジン、アナログ式レコード盤用のクリーナーは使用しないでください。静電気防止剤なども、逆にCDを傷めることがありますので、使用しないでください。
- CDにセロハンテープやレンタルCDのラベルなどののりがはみ出したり、はがしたあとのあるものはお使いにならないでください。そのまま本機で使用する则取り出せなくなったり故障する原因となることがあります。
- 本機では円形ディスクのみお使いになれます。円形以外の特殊な形状(星形やハート型など)のディスクを使用すると、故障の原因となることがあります。

各部のなまえ

内のページに詳しい説明があります。



① モード MODE (FM/AMバンド、チェンジャー切り換え) ボタン ⑧ ⑭ ⑮ ⑲ ⑳ ㉓ ㉔

② ソース SOURCE (チューナー/CD/MD/TV切り換え) ボタン ⑧ ⑨ ⑭ ⑮ ⑲ ㉓ ㉔

③ ボリューム / バス / トレブル / バランス / フェーダー VOL/BAS/TRE/BAL/FAD (音量調節)ダイヤル ⑦ ⑨ ⑭ ㉒ ㉔

④ サウンド SOUND (音質調整) ボタン ㉒

⑤ 表示窓

⑥ ディスプレイ DSPL (表示切り換え) ボタン ⑪ ⑮ ⑲ ㉔ ㉔

⑦ リスト LIST ボタン

ラジオ ⑰ ⑲

CD/MD ㉔ ㉔

TV ㉔ ㉔

⑧ イジェクト ▲ (CD取り出し) ボタン ⑩

⑨ ダイナミックベース D-BASS (重低音調節) つまみ ㉔

⑩ 数字ボタン1～10

ラジオ ⑮ ⑮

CD/MD ㉔

⑪ パワーセレクトスイッチ (底面)

くわしくは「取り付けと接続」をご覧ください。

⑫ シフト SHIFT ボタン

PLAY MODE ⑧ ⑫ ⑮ ㉑ ㉒ ㉓

SET UP ㉒ ㉔

REP ㉔ ㉔

SHUF ㉒ ㉔

⑬ オフ OFF (電源切り) ボタン ⑩ ㉔

⑭ リセットボタン ⑥

⑮ リリース RELEASE (フロントパネル取りはずし) ボタン ㉔

⑯ シーク/エーエムエス SEEK/AMS (頭出し/ラジオ選局) つまみ ⑩ ⑮ ⑮ ㉑

故障かな？

下記の処置を行っても効果がないときは、接続に問題があるか、故障と考えられます。
お買い上げ店またはお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

	症状	原因・処置
	音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> • 音量を上げてください。 • スピーカー接続時：フェーダーの設定が正しくない。 2スピーカーで聞くときは、スピーカーバランスをフロント、あるいはリア側にしてください。 • イコライザー接続時にフェーダーがリア側になっている。 イコライザーなどを接続して使用するときは、本機のフェーダーはセンターに合わせてください。
共通	電源OFF時に時計表示にならない。	パワーセレクトスイッチが⑥になっている。 パワーセレクトスイッチを④にしてからリセットボタンを押してください。（アクセサリポジションのある車のみ）
	メモリーの内容が消えてしまった。	<ul style="list-style-type: none"> • リセットボタンを押した。 • 動作電源コードまたはバッテリーをはずした。 • 電源コードが正しく接続されていない。
	ボタンを押したときの「ピッ」という音が出ない。	「ピッ」という音が出ない設定になっている（23ページ）。
CD	CDが入らない。 CDをいれてもすぐに出てくる。	<ul style="list-style-type: none"> • すでに別のCDが入っている。 • CDを誤った向きに入れようとしている。 レーベル面を上にして入れてください。
	音がとぶ。 音が途切れる。 音が割れる。	<ul style="list-style-type: none"> • CDが汚れている。ディスクをクリーニングしてください。 • ディスクが傷ついている。 • 本機の取り付け角度が60°を越えている。
MD	音がとぶ。	チェンジャー本体がしっかりしていない所に取り付けてある。

CD/MDのエラー表示

CDチェンジャーやMDチェンジャーが誤動作すると、アラーム音が鳴り、エラー表示が5秒間点滅します。

エラー表示	原因	処置
BLANK*	MDに何も録音されていない。	他のMDに入れ換える。
ERROR*	ディスクが裏返しになっている。	ディスクを正しく入れ直す。
	CDが汚れている。	CDをクリーニングする。
	MDが何らかの原因で再生しない。	ほかのMDに入れ換える。
HIGHTEMP	周囲の温度が50℃以上あり再生できない。	車内の温度が下がるのを待つ。
NO DISC	チェンジャーにディスクが入っていない。	ディスクを入れる。
NG DISCS	CD/MDが何らかの原因で再生しない。	ほかのCD/MDに入れ換える。
NO MAG	ディスクマガジンがチェンジャーに入っていない。	ディスクマガジンにディスクを入れ、チェンジャーに入れる。
NO READY	MDチェンジャーMDX-40のフロントパネルが開いている。	フロントパネルを閉じる。(MDX-40接続時のみ)
RESET	何らかの原因でチェンジャーが動作しない。	本機のリセットボタンを押す。

* ディスクマガジン内でエラーを起こしたディスク番号が表示されます。

保証書とアフターサービス

保証書（別に添付）

保証書は、所定事項の記入をお確かめのうえ、お買い上げ店からお受け取りください。内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

保証期間

お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

修理を依頼される前に「故障かな？」の項目に従って、故障かどうかをお調べください。直らないときは、お買い上げ店、またはお近くのサービス窓口（別紙）にご相談ください。

保証期間中

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。

保証期間を過ぎたら

修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間

この製品の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。

主な仕様

CDプレーヤー部

SN比	90dB
周波数特性	5～20,000Hz
ワウフラッター	測定限界以下

チューナー部

FM

受信周波数	76～90MHz(テレビ1～3ch)
中間周波数	10.7MHz
実用感度	10dBf
周波数特性	30～15,000Hz
SN比 50dB感度(IHF)	18dBf
実効選択度	75dB(400kHz)
SN比	62dB(ステレオ) 65dB(モノラル)
ひずみ率(1kHz)	1.0%(ステレオ) 0.5%(モノラル)

ステレオセパレーション	35dB以上(1kHz)
キャプチャレシオ	2dB

AM

受信周波数	522～1,629kHz
中間周波数	10.71MHz/450kHz
実用感度	30μV

アンプ部

適合インピーダンス	4～8
最大出力	40W×4(4 負荷1kHz)

電源部、その他

電源	DC12Vカーバッテリー (マイナスアース)
トーンコントロール	低音：10dB(100Hz) 高音：10dB(10kHz)
出力端子	フロント/リア音声出力端子、 アンプコントロール、 アンテナコントロール
入力端子	ATTコントロール、 ナビゲーションATTコントロール、 バス音声入力端子、 バスコントロール入力端子
本体寸法	約178×50×185mm (幅/高さ/奥行き)
取付寸法	約178×50×162mm (幅/高さ/奥行き)
質量	約1.2kg

付属品

取り付け/接続部品(一式)
取扱説明書(一式)
ソニーご相談窓口のご案内(1)
保証書(1)

別売品

ロータリーコマンダー
RM-X4S(1)
CDチェンジャー
CDX-715(10枚)
CDX-T605(6枚)
CDX-T602(6枚)
MDチェンジャー
MDX-62など
ミニディスクプレーヤー
MDX-410
グラフィックイコライザーミニ
ディスクプレーヤー
MDX-700EQ
ソースセクター
XA-C30
バスケーブル(RCAピンコード
付属)
RC-61(1m)
RC-62(2m)
RCAピンコード
RC-63(1m)
RC-64(2m)
RC-65(5m)
CDクリーニングキット
CDM-3K

本機の仕様および外観は、改良のため、予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

索引

あ行

イントロ 12
エラー表示 41
音量 9、22

か行

カスタムファイル
28~29、31~32
高音 22

さ行

CD/MD 25
名前を探す 30
名前をつける 28
名前を表示する 29
名前を消去する 29
シャッフル 13、27
ステレオ放送 15
SET UP
AMBER、GREEN 23
A.SCRL 23
BEEP 23
CLOCK 7
DIM 23
D.INFO 23
RM 23

た行

低音 22
ディスクメモ 28~29
D-BASS 24
TV 33
登録
自動登録 8
ラジオ局 14、16
道路交通情報 16
電源 10
時計 7

な行

名前
消去する 18、29
つける 17、28
表示する 18、29

は行

バランス 22
ビデオ 35
ヒューズ 38
表示窓
CD/MD 11
ラジオ 15
フェーダー 22
ベストチューニングメモリー 8
ボタンの音 23

ま、や行

モノラルモード 15

ら、わ行

ラジオ 14
自動選局 15
名前を探す 19
名前をつける 17
名前を表示する 18
登録 8、16
リセット 6
リピート 13、26
ロータリーコマンダー 20、21

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川6-7-35

お問い合わせはお客様ご相談センターへ

東京(03)5448-3311 名古屋(052)232-2611 大阪(06)539-5111